

報道関係者各位

イベント開催のご案内

2019年5月吉日

TERATOTERA 事務局

— アートの「これから」を考える —
『コレクティブフォーラム vol.1 なぜ今コレクティブなのか?』
トークセッション開催

□日時：令和元年5月19日（日）15:00～17:00

□会場：ビリヤード山崎（JR中央線 西荻窪駅北口より徒歩1分）

※定員50名・参加費無料（事前申込者優先入場）

JR中央線の西側沿線地域を舞台にさまざまなアートプロジェクトを展開するTERATOTERA(テラトテラ)が、2019年1回目の企画となる『コレクティブフォーラム vol.1』を、5月19日(日) 西荻窪駅近くのビリヤード山崎で開催します。現代アート、演劇、パフォーマンス等の世界で、昨今耳にすることの多くなった「コレクティブ」という言葉。これは複数のアーティストが共同で恒常的に表現活動を行う際に使われます。ただ歴史を紐解けば、表現者がグループを作り集団で作品を発表すること自体は、現代に限ったことではなく過去にもさまざまなアーティストグループが存在していました。しかし2010年代以降、集団形成の成り立ちは、単純に共同で作品を作るということから拡張し、より多様で独自の広がりを見せているように感じられるのです。

『コレクティブフォーラム』では、現在進行形で活動を行うさまざまなコレクティブを紹介しつつ、現代における「コレクティブ」の意義とその可能性について探っていききたいと思います。なぜ今コレクティブなのか？これからのアートの未来を照らす大きな手がかりになるであろう、その問いかけについて、さまざまな視点から考察していきます。



【コレクティブフォーラム vol.1 開催概要】

名称 : コレクティブフォーラム vol.1 なぜ今コレクティブなのか？
日時 : 2019 年 5 月 19 日(日) 15:00~17:00 (開場 14:30)
会場 : ビリヤード山崎 (東京都杉並区西荻北 3-19-6)
参加費 : 無料
定員 : 50 名 ※先着順 / 事前申込優先
登壇者 : アジア女性舞台芸術会議 (羊屋 白玉・前田 愛実)、美学校 (皆藤 将・三田村 光土里)
毛利 嘉孝、Teracollective メンバー
モデレーター : 小川 希 (TERATOTERA ディレクター)
主催 : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般社団法人 Ongoing
イベント URL : <http://teratotera.jp/events/コレクティブ-フォーラム-vol-01-なぜ今コレクティブ/>

【コレクティブフォーラム vol.1 登壇者】

・ アジア女性舞台芸術会議/亜女会 (あじあじょせいぶたいげいじゅつかいぎ/あじょかい)

2012 年に羊屋白玉(劇作家、演出家、俳優)と矢内原美邦(振付家、劇作家、演出家)の声掛けで始まる。アジア諸国のアーティスト、プロデューサー、翻訳家、研究者など舞台芸術に関わるメンバーを中心に、さまざまな分野・セクターの人々を巻き込み、対話や交流を重ねながら、作品作りやネットワークを行うコレクティブ。多種多様な民族・社会・言語・文化・歴史をもつアジアを訪ね、女性の声やさまざまな物の声を拾い集め、世界を映し出す鏡である舞台芸術を手段として発信している。これまでの主な活動に「第一回アジア女性舞台芸術会議」(2015 年 7 月、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ)、国際共同制作『ファミリー』(2016 年 12 月)、リーディング公演『悲劇のヒロイン』(2017 年 11 月、下町芸術祭)など。2018 年 8 月にはベトナム、フエにて国際ミーティングを行った。



羊屋 白玉 (ひつじや しろたま)

「指輪ホテル」芸術監督。演出家、劇作家、俳優。劇場での公演の他、国内外の現代美術の芸術祭に招聘され、サイトスペシフィックな環境で演劇作品を発表している。人や物・街など、あらゆる現象の看取りや喪失、目に見えない境界などに関するネガティブなテーマを、演劇を通して生成している。

アジア女性舞台芸術会議(亜女会)代表。アジアの女性舞台芸術家達とのコレクティブを目指す。アジアの女性達にインタビューをし、社会学や民俗学に基づいた生活史のアーカイヴを作りながら、歴史における発展と保存の対立の中、どのようにバランスのとれた未来を作っていけるかをミッションとしている。

ニューズウィーク日本誌で「世界が認めた日本人女性 100 人」に選ばれている。



前田 愛実 (まえだ まなみ)

劇評ライター、パフォーマー。ダンス企画おやつテーブル主宰。英国ランカスター大学演劇学部修士課程修了。早稲田大学演劇博物館助手。故・太田省吾氏、坂手洋二氏の演出助手を経たのち、ライターとして現代演劇・コンテンポラリーダンスについて、様々な媒体に寄稿。2012 年アジア女性舞台芸術会議実行委員会立ち上げに参加。現職は国際文化会館アートプログラム・シニアコーディネーター。

・美学校（びがっこう）

東京 神田神保町にある美術・音楽・メディア表現の私塾。1969年現代思潮社により設立。少人数・通年制で学歴、年齢、国籍不問。いわゆる「学校」という静的なものでなく、技術や知識の体得と同時に様々な出会いや実験が起こる有機的な運動体と捉え、自由と自治が存在する場として開かれている。歴代講師に中西夏之、木村恒久、中村宏、赤瀬川原平、松沢宥、菊畑茂久馬、鈴木清順、小沢剛、会田誠、卯城竜太（Chim↑Pom）他。現講師に松蔭浩之、O JUN、中ザワヒデキ、佐藤直樹、遠藤一郎、菊地成孔、岸野雄一、大原大次郎、他。



皆藤 将（かいどう まさる）

写真家、アーティスト、新・方法主義者。1984年東京都生まれ。2008年上智大学卒業。美学校卒業。2012年に「新・方法」に加入。以降、新・方法主義者としても活動。2016年に写真家集団「Three Delta Triangles」を結成。近年の参加展覧会・プロジェクトに、「よそのアート」（2016）、Three Delta Triangles「第三世界」（2017）、「人工知能美学芸術展」（2017-18）、「始末をかく」（2017-18）など。2008年より美学校の運営スタッフを務める。



三田村 光土里（みたむら みどり）

現代美術作家。愛知県生まれ。東京在住。

個人的な追憶を、写真や映像、言葉や日用品等の多様なメディアで構成したインスタレーションを国内外で発表。世界各地でのフィールドワークを通して、文化的差異を越えて共感する日常の気づきを、私小説的な空間作品に表出させる。2005年文化庁新進芸術家海外派遣（フィンランド三都市巡回個展）、ウィーン分離派館にて個展（2016）、あいちトリエンナーレ（2016）他、国内外で個展・グループ展多数。2007年より美学校講師。現代美術講座「アートのレシピ」を松蔭浩之とともに担当。



毛利 嘉孝（もうり よしたか）

社会学者。専門はメディア／文化研究。1963年生。東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授。

京都大学卒業後、広告会社勤務を経て、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジで PhD を取得。特に現代美術や音楽、メディアなど現代文化と都市空間の編成や社会運動をテーマに批評活動を行う。主著に『ストリートの思想』（日本放送出版協会）、『文化＝政治』（月曜社）、『増補 ポピュラー音楽と資本主義』（せりか書房）、編著に『アフターミュージッキング』（東京藝術大学出版会）。

・Teracollective（てらっこれくていぶ）

TERATOTERA のボランティアスタッフであるテラッコの歴代コアメンバー16名によって2018年に設立。

メンバーの職業、年齢、性別は様々であるが、アーティストやアートの現場を支援し共に作り上げていきたいという強い想いを共有している。裏方だけのコレクティブとして、アートにまつわる様々な人や現場を支え盛り上げる。

【モデレーター】



小川 希 (おがわ のぞむ)

2002 年から 2006 年にわたり、東京や横浜の各所を舞台に、若手アーティストを対象とした大規模な公募展覧会「Ongoing」を年 1 回のペースで企画、開催。その独自の公募・互選システムにより形成した数百名にのぼる若手アーティストのネットワークを基盤に、既存の価値にとらわれない文化の新しい試みを恒常的に実践し発信する場を目指して、2008 年 1 月に東京・吉祥寺に芸術複合施設 Art Center Ongoing を設立。現在、同施設の代表を務める。また、JR 中央線高円寺から国分寺を舞台としたアートプロジェクト TERATOTERA (テラトテラ) のディレクターとしても活躍する。最近では 2016 年 1 月から 4 月までの 3 ヶ月、国際交流基金アジアフェロウシップとして、東南アジア 9 カ国に点在する 83 カ所のアートスペースをリサーチした。

【コレクティブフォーラム vol.1 申し込み方法】

入場ご希望の方は、下記 URL よりお申込みください。
お申し込みは先着順となりますので予めご了承ください。

・ <https://forms.gle/aUUVxMnvkq6DWVsi9>

◇申し込み締め切り：2019 年 5 月 17 日（金）23：59

（定員になり次第締め切ります。）

※プログラムの内容は変更になる場合があります。

※ご来場の際は可能な限り公共の交通機関をご利用ください。

（会場周辺に公共の駐車場はございますが、主催者サイドではご用意しておりません）

※イベント当日の写真撮影や SNS 等への投稿の可否につきましては、

下記問い合わせ先までお問い合わせください。

※登壇者の過去の活動や作品をご覧になりたい場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【会場 MAP】



ビリヤード山崎（東京都杉並区西荻北 3-19-6）

JR 中央線 西荻窪駅北口より徒歩 1 分

【本件に関するお問い合わせ先】

TERATOTERA 事務局 担当：森
東京都武蔵野市吉祥寺東町 1-8-7

Art Center Ongoing 内

TEL：090-4737-4798

MAIL：info@teratotera.jp

WEB：<http://teratotera.jp/>